

まとめ

中央公園再整備の最終的な成果は、中央公園の上手な利活用とそこから生まれる新たな交流・取組みによって久御山町民の暮らしの質が良くなり、町全体の活性化が公園の更なる利活用を生み、公園と町の魅力を高めるという良い循環が生まれることである。

このことを念頭に、本再整備基本計画の作成に当たっては、町で取組みが行われている様々な取組みやアンケート結果等を踏まえ、多くの住民等の多様で自由な利用が中央公園さらには町全体の活性化に繋がるような中央公園のあり方について議論を重ね、検討を行った。

その際、特に意識したのは、以下4点である。

- ・ 多様な使い方・使われ方を想定し、これを実現するための空間のあり方を考える。
- ・ 中央公園のニーズ（使い方・使われ方）そのものも時代と共に変わっていくことを前提に、作りこみ過ぎない、柔軟性のある計画とする。
- ・ 中央公園の既存の機能・資源等は最大限活かしつつ、これらを有機的に結び合わせ、町の魅力向上・発信に繋げる。
- ・ 中央公園での住民主体の様々な活動・取組みが町づくり全体に広がるようなきっかけづくりに、住民・町・民間事業者が一体となって取り組める運営方式とする。

とりわけ、住民主体による公園運営への関わりについては、公園利用者の中から利活用を主体的に考え実行する団体が複数生まれ、さらに、これら団体がまちづくりセンターや町の他の施設も含める形で、各種イベント・プログラムの計画・実施等においてコーディネーターのような役割を果たすようになることが理想である。

再整備後の中央公園が、久御山町民の様々な活動・チャレンジのきっかけを提供し、これらをつなぎ大きく育てる「苗圃」として、広く長く変化しながら活用されることが期待される。